

議会だより

あしや

No.206

令和2年
6月定例会

令和2年8月20日発行
福岡県芦屋町議会

やっと再開した部活動

- P 2 コロナ対策事業第1弾
- P 4 コロナ対策事業第2弾
- P 8 議会の活動を紹介
- P 9 視察レポート
- P 10 町角インタビュー

芦屋中学校バレーボール部の様子

5月臨時会

第2回臨時会が令和2年5月15日に1日の会期で開催されました。条例、補正予算など8議案が上程され、全ての議案が可決されました。

補正予算

コロナ対策事業第1弾！

町民1人あたり2万円給付



賛成

【町独自の給付金は的を射ている】

妹川征男議員

新型コロナウイルスの感染拡大のため外出自粛が長期化し、コロナ疲れという言葉も生まれている。長い間家にこもり、町民は不自由な生活を強いられている。小売業、飲食業、カラオケ店などからは売上げの落ち込みが激しく、賃料や水道光熱費など固定費の支払いに困窮し、店を閉じる検討をしているといった切実な声も聞ける。

緊急事態宣言が解除されたとはいえ、経済改善の見通しはたっていない。これ以上シャッター通りをつくらず、人口減を食い止めるため、今回の第1弾の町独自の給付予算は的を射ている。



賛成

【暮らしの一助に期する予算】

松岡泉議員

今回の補正予算には、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う町独自の支援策で、全町民を対象に1人あたり2万円を給付する緊急生活支援給付金や、町内事業所事業継続支援給付金、家庭用ごみ袋配布支援事業、上下水道料金支援給付金などが盛り込まれている。

町では、「仕事がなくなつて生活に困っている」、「学業資金が確保できない」などの声も挙がっており、町民の健康や暮らしを脅かす状態が続いている。

これらの事業は、町民に希望を与え、暮らしの一助に期するもので、評価できる。

一般会計補正予算(第1号)

(満場一致・可決)

歳入歳出それぞれ**18億2600万円**の増額補正です。

補正のあった歳出のうち、町独自の取り組み	補正額
緊急生活支援給付金 (町民1人あたり2万円を各世帯に給付)	2億7160万円
事業所事業継続支援給付金 (町内で事業を継続させるために、1事業所へ10万円給付)	5300万円

◆町内事業所事業継続支援給付金

なぜ農業・漁業者を対象外にしたのか。

【答】 経済センサス(国が行う統計調査)の事業所を対象としたため、対象外になっている。

農業・漁業者に対する支援の再検討を要望しました。



◆財政調整基金

【問】 財政調整基金は最終的にはいくらになるのか。

【答】 基金残高は令和2年度末で約5億3000万円と見込んでいたが、コロナ対策で約3億4000万円取り崩したため、約1億9000万円の見込みとなる。

賛成

【次は医療介護などの従事者への支援を】
萩原洋子議員

町長は新型コロナウイルス感染症の治療に当たる医療従事者、高齢者や障がい者の福祉施設、保育施設などで業務に従事される皆さんに対する感謝と敬意を述べた。このような皆さんは今後も非常に不安を抱えながら、町民のためにケアを続けていくと思う。第2弾の支援策に期待して賛成討論とする。

（第1号）
（満場一致・可決）

新型コロナウイルス感染症対策における上下水道料金支援給付金の給付を行うため1億40万円の増額補正です。



条例など

町長等の給与の臨時特例に関する条例（賛成多数・可決）

芦屋町独自の新型コロナウイルス感染症対策実施に係る財源を確保するため、半年間、町長、副町長、教育長、モーターボート競走事業管理者の給料を減額する特例条例を制定します。

◆減額割合

町長：20%

副町長など：15%

一般職員の給与の臨時特例に関する条例（賛成多数・可決）

右条例と同じ理由で、課長補佐を含む課長職の給料を減額する特例条例を制定します。

◆減額割合

課長職：5%

専決処分事項の承認
（賛成多数・承認）

地方税法施行令の改正に伴い、芦屋町国民健康保険税条例の一部

を改正する専決処分を行いました。

問 条例改正に伴い国保税の基礎課税額が引き上げられたが、過去5年間の推移は。

答 平成27年度52万円、平成28年度54万円、平成30年度58万円、平成31年度61万円、令和2年度63万円と推移している。

反対

【高すぎる国保税の解決にはならない】
川上誠一議員

今回の改正で国民健康保険税の減額対象世帯は拡大されたが、その一方で、課税限度額が現行の61万円から63万円に引き上げられた。減額対象世帯の拡大は評価すべきだが、課税限度額引き上げには反対する。限度額の引き上げが繰り返されてきたが、高すぎる国保税問題の解決にはならない。全国知事会が国に要望している国保会計への1兆円の公費負担増でしか解決できない。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	内海	中西	長島	萩原	信国	本田	松岡	妹川	辻本	小田	川上	横尾			
芦屋町長等の給与の臨時特例に関する条例の制定	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	—	8	3	可決
芦屋町一般職員の給与の臨時特例に関する条例の制定	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	—	7	4	可決
専決処分事項の承認 (芦屋町国民健康保険税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—	9	2	可決

6月定例会

第2回定例会が令和2年6月12日から19日の会期で開催されました。新型コロナウイルス感染症対策のため、一般質問は行われませんでした。但し、条例、補正予算など19議案が上程され、全ての議案が可決されました。

その他 コロナ対策事業第2弾！

専決処分事項の承認
(満場一致・承認)

新型コロナウイルス感染症対策の町独自事業を早急に行うため、一般会計補正予算(専決第1号)を専決処分しました。

◆介護事業者等新型コロナウイルス感染症対策給付金
(介護する人が感染して入院などした場合、残された要介護者にショートステイなどを提供する事業者へ要介護者1人あたり15万円を支給)

問 1世帯に要介護者が複数人いた場合の支払額は。
答 要介護者1人あたり15万円支給されるため、複数人いる場合はその人数分が支給される。



◆ひとり親家庭等支援給付金
(ひとり親家庭に5万円・就学援助世帯に5万円を支給)

問 ひとりで親家庭の申請状況は。県の児童扶養手当は生活保護世帯も対象か。
答 6月15日現在で135世帯が申請しており、執行率は96%である。県の手当は生活保護世帯も対象となっている。

問 町独自の支援で生活保護世帯を対象外にした理由は。
答 生活保護世帯は収入に変化がない。町独自の支援は、収入減で困っている世帯を対象にしたため、対象外にした。



◆医療・介護従事者新型コロナウイルス感染症対策給付金
(業務で感染した場合、1人あたり15万円を支給)

問 町外在住者も対象か。
答 町外在住でも、町内事業所勤務者であれば対象になる。

◆農業漁業者事業継続支援給付金
(1事業者あたり10万円を支給)

問 漁業者は組合員が対象だが、農業者の対象基準は。
答 農業者の対象は、農地基本台帳に記載された1000人程度と考えているが、申請には農業所得や販売の証明が必要となる。



◆商工会補助金
(プレミアム商品券のプレミアム率を30%に上乘せ)

問 販売金額と販売予定日、販売回数は。
答 7000万円を予定としている。また、販売は最短で8月の予定である。回数はまだ決定していないが、1回の可能性が高い。

◆町内飲食店等家賃支援給付金
(1カ月あたりの家賃の2分の1を2カ月分支給)

◆学校消毒作業員の雇用
(福岡県緊急短期雇用創出事業を活用し、学校内を消毒する作業員を8人募集)

専決処分事項の承認

(賛成多数・承認)

災害などの有事の際に対応策を緊急に行う場合を想定し、基金を処分して町長が必要と認める経費に使用できるよう、競艇収益まちづくり基金条例の一部を改正する専決処分を行いました。

問 基金の設立目的は。

答 将来にわたり、福祉・教育分野で持続可能なまちづくりに資するために設置した。

問 新型コロナウイルスが収束し必要が無くなったときは、条例を元に戻すのか。

答 今後、緊急に福祉や教育分野でこの基金を使用したいとなつたときに、臨機応変な対応ができるように条例を改正する。元に戻すことは考えていない。

問 町長の恣意的な判断で基金を運用する要素が今後出てくるのではないかと懸念しているがどうか。

答 「福祉・教育分野において」と条例で限定しており、あくまでも福祉・教育分野での処分になる。当然、基金の処分にあたっては、慎重な協議を重ねたうえで行いたい。

専決処分とは・・・

本来、議会で議決すべき事柄を町長が地方自治法の規定に基づき、議会で議決する前に処理することです。



反対

【議案として上程すべきものだ】

川上誠一議員

今議会の他の専決処分は、新型コロナウイルス感染症の対策と財源の確保を緊急性とスピード感をもって対応するために専決処分したものと理解できる。

しかし、競艇収益まちづくり基金条例の改正は、今後の災害に対するものであり、今回のコロナ対策で、町独自支援を早急に行うことと関連していない。この改正は、今議会で議案として上程し、議会の審議を経て制定すべきものである。それが行政と議会の財政民主主義の在り方である。

補正予算

一般会計補正予算(第2号)
(満場一致・可決)

歳入歳出それぞれ3200万円の増額補正です。

補正のあった歳出の主な内容	補正額
住宅使用料過誤納還付金 (町営住宅入居者に対し住宅使用料過後納金を還付する)	約1288万円
公園遊具整備工事	—

※工事費は、金額の公表を行っていません。

問 連絡がつかない対象者はいないのか。

答 町外対象者は12人、亡くなった対象者は5人いるが、同居親族などと連絡を取る予定である。

◆公園遊具整備工事

問 本来は、当初予算に計上すべきものだが、なぜ補正予算で計上したのか。

答 昨年度行った公園遊具精密点検結果に基づき、工事を行うが、遊具によって修繕方法が違い、積算に時間がかかったため、補正予算で計上した。

修繕119つの公園のブランコなど撤去117つの公園の滑り台など新設115台分の滑り台



撤去後新設される下の辻公園の滑り台

契約

緑ヶ丘団地エレベーター設置
工事（7棟）（その2）請負
契約の締結（満場一致・可決）

- ◆契約金額：約7375万円
- ◆契約先：(株)田中 芦屋支店

問 エレベーター工事の場合、専門的な業者にすべきでは。

答 エレベーターの基準は指定しており、建築業者で問題はない。



すでに工事の終わった緑ヶ丘団地の棟

柏原漁港機能保全工事（3号）
物揚場 請負契約の締結
（満場一致・可決）

- ◆契約金額：約5309万円
- ◆契約先：清水丸源建設(株)



柏原漁港3号物揚場

訂正

5月15日に発行した
議会だより205号の訂正

P6の令和2年度菅屋町モーターボート競走事業会計予算における、妹川議員と本田議員の討論の中で、キッズパーク設置について主張していますが、本予算には含まれていないため、お詫びして訂正します。

6月定例会で意見がわかれた議案の賛否一覧



表決の様子（満場一致）

議員は挙手をして、賛成・反対の意思を表示します。

議案の賛否を掲載しています。掲載のない18議案は、満場一致で可決されました。
※議長には、賛否の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	内海	中西	長島	萩原	信国	本田	松岡	妹川	辻本	小田	川上	横尾			
専決処分事項の承認 （競艇収益まちづくり基金条例の一部改正）	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	8	3	可決



行政報告

◆情報避難訓練および避難所開設訓練

6月7日、洪水や土砂災害を想定した、情報伝達訓練と避難所開設訓練を行いました。

情報伝達訓練では、町民への避難行動への促しとして、防災行政無線による屋外放送や防災メール・まもるくんなどで、町民へ周知しました。

なお、町民の避難訓練は、新型コロナウイルス感染症予防のため、今回は実施を見送りました。

避難所開設訓練では、新型コロナウイルス感染症対策に対応するため、避難者が避難してからの受入対応、ソーシャルスペースを確保するための配置、部屋の振り分けなどのゾーニング、屋内避難用テントの設置などの訓練を行いました。

行政報告とは・・・

町長が議会を通じて町の重要な問題の経過などを住民に報告するものです。

ここでは、令和2年3月から5月までの行政報告の一部を掲載しています。



秋には、地震や津波災害などを想定した訓練を予定しています。



屋内避難用テント設置の様子



避難者を検温する様子

7月

臨時会

第3回臨時会が令和2年7月6日に1日の会期で開催されました。2議案が上程され、全ての議案が可決されました。

専決処分事項の承認

(満場一致・承認)

国から「新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険料(税)の減免に対する財政支援について」が通知されました。このことに伴い、町の対象者へ国民健康保険税の減免を行うため、芦屋町国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分を行いました。

問 事業の収入などが昨年と比べ3割以上減少した主たる生計維持者が対象となっている。申請直前の月までの収入実績は把握できるが、残りの月はどう計上すればいいのか。

答 被保険者に対する迅速な支援のため、見込みで判断する。

問 見込みよりも収入が増えた場合、返納しなければいけないのか。

答 結果的に収入が3割以上減少しなかった場合でも、原則返納する必要はない。しかし、虚偽など不正な申請で減免を受けた場合は、状況を確認し返納などの判断をすることになる。

水槽付消防ポンプ自動車購入契約の締結

(満場一致・可決)

◆契約金額：4246万円

◆契約先：ジーエム市原工業(株)



問 平成30年度に消防ポンプ車を購入した時(約2138万円)より高額となったのはなぜか。

答 今回購入するポンプ車には水槽がついているため、前回より高額になっている。

6月定例会における新型コロナウイルス感染症対策

6月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の内容に取り組みました。町民の皆さんのご理解とご協力に感謝いたします。

◆取り組み内容◆

1. 一般質問は取りやめました

議員間の申し合わせにより、一般質問を行いませんでした。

2. 本会議や委員会の傍聴を行っていません

3密（密閉・密集・密接）を避けるため、本会議や委員会の傍聴は行いませんでした。

3. 会議時間の短縮や時差開催し、席の間隔も確保しました

行政報告や議案朗読の省略により、会議時間を短縮しました。委員会室での長時間に及ぶ3密（密閉・密集・密接）を避けるため、午前と午後に分けて時間をずらし、各委員会の審査を広い会議室で席の間隔を確保して行いました。



席の間隔をあけて開催された委員会

4. 議員の健康チェックを行いました

本会議や委員会の前に、全議員の検温を行いました。37.5度以上ある場合は、出席を控えるようにしました。

— 議会活動内容を報告します —

議員全員で次亜塩素酸水の無償配布に協力！

芦屋町が新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいる中、芦屋町議会でも支援のかたちを模索したところ、町長から依頼を受け、全議員で次亜塩素酸水の無償配布業務に協力しました。

日にち：6月8日（月）事前準備（次亜塩素酸水精製）
6月9日（火）配布作業



総務財政委員会 視察レポート

日程：1月22日～24日

視察先：愛知県NTPマリーナ高浜
兵庫県人と防災未来センターほか

視察者：辻本一夫・長島毅・横尾武志
妹川征男・本田浩・信国浩

官民連携の「家族で楽しむ海」

NTP マリーナ高浜

高浜市は不法係留船対策として、ボートパークを計画したが、収益が確保できないことがわかったため、民間事業者が経営するマリーナと融合することでお互いのリスクを軽減している。ボートパークはNPO法人に管理運営を委託しており、清掃活動やイベントなども実施し市民に理解を得ている。また、マリーナは民間事業者が整備運営し、給油や修理などフルサービスを提供している。通常はオーナー専用のクラブハウスが市民にも開放され、BBQも利用できるなど、民間活力ならではの運営がなされていた。これからの「芦屋港レジャー港化」の参考としたい。

減災社会の実現のため

人と防災未来センター

阪神・淡路大震災の経験と教訓から、国の支援で兵庫県が設置した施設で、被災者の方々がボランティアの案内人として「命の大切さ」、「生きることの素晴らしさ」、「減災社会の実現」を伝えている。視察した日は待ち時間が出るほど多くの方が来館しており、改めて防災への関心が高いことを体感した。芦屋町でも行政や教育機関、自治区、自衛隊、家族などの連携を常に確認しておくことが必要であり、継続した避難訓練などを通して減災につなげていきたい。



人と防災未来センター視察の様子

行政視察 レポート

日程：1月30日～31日

視察先：愛知県田原市図書館ほか

視察者：松岡泉・小田武人

まちづくりにつながる行政・議会支援サービス

田原市図書館

田原市図書館は「行政・議会支援サービス」などが評価され、令和元年度第5回図書館レファレンス大賞に輝いた。このサービスを行った経緯は、議会図書室の整理の相談を受けたことである。今は、職員や議員などを対象に、「図書館の資源を活用し、業務の効率化や政策立案、事業PRなどにつながるサービス」や「市の課題や取り組みを住民に向けて発信するサービス」が行われている。



田原市図書館視察の様子

★議会活動への具体的な支援サービス

- ①定例会に合わせた蔵書の団体貸し出し
- ②連携イベントの開催(図書館で議員と語ろう)
- ③議員などへの資料の提供
- ④議会活動展示(写真で見る市議会)

図書館が行政や議会と連携することで、住民の議会などへの理解度が向上し、市の課題について共通認識が醸成されている。また、議員も正しい知識を得るための手段として資料提供サービスを活用し、議員活動の効率化に役立てている。

芦屋町の図書館でも、多様な支援サービスが行われているが、行政や議会との連携をさらに充実すれば、町民に対する議会活動の透明化促進に繋がると思う。

町かど インタビュー



再開された芦屋中学校の生徒会のお二人にインタビューしてきたっちゃ。

岡田至道(しどう)君と砂川智海(ともみ)さん。2人とも三年生っちゃ。



芦屋中生徒会の砂川さんと岡田君

Q 自粛中はどうでしたか？

A 岡田 案外のものびりしていません。テストもないため受験生の焦りもなかったです。逆に今すごく焦っています。でもギターは上達しました。

A 砂川 手伝いが増え、料理の腕が上達しましたが、家族から豚汁の味が薄いと怒られました(笑)。早く母の味に追いつきたいです。

Q 学校再開した時の気持ちは？

A 岡田 休みに慣れて学校の楽しさも忘れていたので「受験生」という現実には引き返されて少し憂鬱になりました。

A 砂川 終わってない宿題の不安はありましたが、学校が大好きなので、ただ単に嬉しかったです。

Q 将来の夢はありますか？

A 岡田 ボランティアなどで地域を元気にするような、人を笑顔にする仕事に就きたいです。芸人や俳優とまでは言わないですが・・・(笑)。

A 砂川 人と関わることが大好きなので、福祉関係の仕事に興味があります。幸せな時間を共にしたいと思います。

Q 最後に芦屋町の印象やお願いはありますか？

A 教育に力を入れてくれている印象があります。あと若い人が遊ぶところが少ないので、増やしてほしいです。

Q 最後は芦屋町の印象やお願いはありますか？



学校再開後、全員マスクを着用したクラス風景

次回の定例会は 9月3日開会予定

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。また、本会議は役場1階ロビーでライブ中継をしています。

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望する方は議会事務局にお問い合わせください。(TEL 223-3579)

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況によっては、傍聴をお断りする可能性がありますので、御了承ください。

議会録画中継配信中

詳しくは、芦屋町ホームページをご覧ください。なお、配信は本会議終了から7日後(土日祝日をのぞく)になります。



録画中継ページ



新型コロナウイルス感染症の対策を検討する国の専門家会議は「新しい生活様式」の具体例を示しています。

広報委員会もこれに基づき、人との距離を取る・マスク着用・窓の解放による換気・手洗いの徹底を原則とした編集会議を行っています。

専門家会議の提言では、PCR検査の実施件数が増加しなかった原因として、①保健所の業務過多②検査を行う地方衛生研究所の不十分な体制③検査に関わる感染防護具の不足などを挙げています。

医師が必要と判断した感染の疑いがある患者にも迅速・確実な検査体制をつくるのが求められます。

国や県へ働きかけると同時に市町村での対応が不可欠となっています。

町民の命と暮らしを守る、議員と議会の役割が問われています。

川上 誠一

【発行責任者】

議長 横尾 武志

【議会広報常任委員会】

委員長 川上 誠一

副委員長 長島 毅

委員 本田 浩

委員 信国 浩

委員 萩原 洋子

委員 中西 智昭